

認知症マフを学ぼう！

認知症の人のためにマフを編んでみよう

講師：能勢マユミ（ニット作家）

NHK・Eテレ「すてきにハンドメイド」出演

日時：12月14日（日）

午後1時～3時（開場12時30分）

参加費：2,000円

（材料費：毛糸3玉、テキストブック）

定員：20名

（事前申込みが必要です）

持ち物：10号かぎ針、ハサミ、筆記用具

会場：夙川公民館 第2集会室

この講座は認知症について学びながら、認知症の人に使ってもらう円筒形のニット小物「認知症マフ」を製作します。マフは毛糸で編んだ円筒形の防寒具で、内外にボタンやリボンなどの飾りが付けられていて認知症の人が飾りに触ることで心が落ち着くと言われています。イギリス発祥のニット小物で、現地では「Twiddlemuff（トゥイドゥルマフ）」と呼ばれ10年以上前から高齢者施設や病院で使われてきました。

※この講座ではボタンやリボンではなく、本体と同じ毛糸で編むアクセサリーを使います。

申込みについて

申込日：11月12日（水）

午前11時30分～第2集会室にて受付

※ 先着順、申込当日定員に達しない場合は公民館窓口にて継続して受け付けます（平日午前9時～午後4時45分）

※ キャンセルされた場合の参加費はお返しできません
後日、夙川公民館窓口にて材料をお渡しします